



天笠啓祐さん

「遺伝子組み換え食品のいま」

常総生協2017年度活動方針討議に向けて

11/27 公開講座

# 「GM 食品と農薬」

講演を受けて協同の実践へ！



黒田洋一郎さん

「農薬が子どもの脳に及ぼす影響」



魚住道郎さん

「次世代への責任。農薬をなくす運動は生産者と消費者の協同の実践にある」



年始 1月 1 回のお届けは、1/5 (木) ~7 (土) の供給となります。

## 年末年始の「配布・回収・お届け」スケジュール

お届け日、供給時間は供給担当からご連絡させていただきます。

	日	月	火	水	木	金	土
12月3週	18	19	20	21	22	23	24
	1月1回と2回同時回収						
12月4週	25	26	27	28	29	30	31
4回・5回	12月4回配達			12月5回(おせち)配達			休
2017年	1	2	3	4	5	6	7
1月1週	お休みを頂きます				1月1回配達		

## 【12月の予定】

●生協基幹運営/地域活動・催し●	●提携・協同・連帯企画●
12.2 (金) 浅野農園「干し大根づくり」支援交流会	12.4 (日) あいコープふくしま生協まつりに参加
12.3 (土) じょうそう朝市(本部前)もちつき大会	12.4-5 (日月) 福島有機農学校(二本松)猫の手応援隊
12.6 (火) 私たちのくらしと憲法 山本先生憲法講座 脱原発とくらし見直し委員会(13:30~)	12.10 (土) 関東子ども基金 白井甲状腺検診
12.7 (水) おせち試食会(つくば)	12.11 (日) 関東子ども基金 松戸甲状腺検診
12.8 (木) おせち試食会(我孫子)	
12.17 (土) 「歴史を学ぼう」都留さんの歴史講座	12.17(土) 日本有機農業研究会市民公開講座 「有機農業は社会を変える一翼になれるか」
12.21 (水) 第8回 定例理事会	

## 「GM 食品と農薬」(1)

## 司会とあいさつ 伊藤専務理事



みなさんおはようございます。本日は「GM食品と農薬」という市民講座を開催いたします。

第Ⅰ部では遺伝子組換えキャンペーン20周年記念講演を兼ねて代表の天笠さんより「遺伝子組換え食品のいま」についてお話し頂きます。第Ⅱ部では「農薬が子どもの脳に及ぼす影響」ということで黒田洋一郎さんに講演を頂きます。

常総生協での遺伝子組換え食品に対する取り組みでは、特に2003年に茨城の谷和原村でモンサント社が一般ほ場

で試験栽培した遺伝子組換え大豆に対して組合員・生産者がすき込む行動が大事件になりました。それから13年が経過して問題関心が薄れているということもあり、ここ守谷で「遺伝子組換え食品のいま」というテーマで20周年を迎える遺伝子組換え食品いらないキャンペーン代表の天笠さんに講演を頂きます。

農薬につきましては常総生協ではネオニコチノイド系農薬をはじめとする農薬はこわいので「有機農業を推進しましょう」と2004年くらいから取り組んできました。今年5月にも生産者といっしょに「農薬学習会」を開催しました。しかし、農薬というのは毎年いろんな新種の農薬が登場してきていて生産者も惑わされるという状況があります。ですから生産者にも「有機農業をやってください、農薬を使わないで下さい」ということを言い続けなければいけなかったのですが、「生協側からの働きかけが弱い、しっかりした方針を」という指摘を理事会・組合員からも受けました。

この数年、生協から生産者へもそのことを伝え続け、いっしょにどうするかという努力が不足していたという点が非常に大きくて、そうした反省点も持ちまして今日の講演会となりました。そもそもどういったことが農薬の問題としてあるのかとどこから消費者と生産者、そして生協の職員が共に勉強しましょう、特に農薬が子どもたちにどういった影響を与えてしまうのかという点から黒田先生にお話しを聞きたいと思っておりますのでよろしくお祈りします。

## 公開講座『GM 食品と農薬』開催の経緯と目的

常総生協は40年を経て世代交代で新しい理事会・役員体制となって半年。いよいよ年明けより2016年度の活動・事業の反省と2017年度活動方針についての組合員討議がはじまります。生産者とも2017年に向けて共にどんな食べものづくりをすすめるのか協議に入っていきます。

2011年に起きた原発事故以来「食と環境の放射能汚染と被ばくによる健康影響・原発をもうやめさせる」取り組みが生協としても緊急の課題として取り組まれてきました。他方、継続的な取り組み課題となっていた「遺伝子組換え食品」や「農薬」の問題が手薄になって、生産者の中でも意識されずに不注意でネオニコチノイド系農薬を使ってしまうことも発生し、組合員・生産者、そして食の業務を預かる職員の中で問題意識が希薄になっているのではと理事会でも指摘され議論されてきました。

協同組合では消費者と生産者が相互に努力していく関係づくりが基本です。そのためには組合員・生産者・職員がこれらの問題について主体的に学び「共通認識」をつくる必要があるとの認識で、今回有機農業研究会の力も借りて勉強会を開催することとなりました。

2017年度活動方針に向けた討議の材料にもなりますので、ニュースで数回にわたって講演会の報告をしていきます。今回は主催者趣旨説明と講演の主な骨子を紹介し、次号より課題別のお話しの報告をしていきます。

## 【主催者あいさつ】

### 茨城有機農業研究会 魚住道郎

「茨城有機農業研究会」は1970年代半ばにできて40年ほどの歴史があります。このメンバーは1971年に設立された日本有機農業研究会と重なりあったメンバーで構成されてまして茨城で有機農業を共にすすめてきた仲間です。毎年一回こういう勉強会や見学会を開催しています。今日は常総生協と共にこの会場をお借りして市民公開講座を開催させて頂くこととなりました。



いま農業がおかれている状況でいちばん重要視しなければいけない事がこの二つです。天笠さん、黒田先生をお招きして今日一日かけてじっくりお話を伺い、そして次に現場の食べる人と作る生産者とがめざめないと、今日のお二人のお話をせっかく聞いても、実際にそれを実現していく努力を生産者と消費者がこなしていかなければ意味がありません。

そういう歴史を作っていく、それが有機農業の運動であるし協同組合の歴史的な取り組みでもあります。農業協同組合とか生活協同組合とかに分かれて協同組合の歴史がありますが、そういうものを乗り越えて、生産者と消費者がこの難題にしっかり向き合ってゆくこと、自分たちの利害だけを表に出すのではなくて、次世代にこれだけ重大な課題が僕らに突きつけられているわけで、その課題に向かって自分たちが今何ができるのか、そのスタートになる、心新たにしたい、そんな気持ちで常総生協の役員のみなさんにお声かけをして今日の勉強会が実現しました。

お二方のご講演のあとで、私も現場からの呼びかけをお伝えしたいと思います。今日はよろしく願いいたします。



会場横には30品目を超す魚住農園の有機野菜が並んだ

### 常総生活協同組合理事長 柳町弘美



私が遺伝子組換えにかかわったのは2004年に理事になったときに、モンサントのは場見学に行ったり、つくばの研究所に手製のゼッケンを作って遺伝子組換えイネのサルへの動物実験に抗議にいったりしたのが最初のきっかけです。

私が住んでいる牛久でも遺伝子組換えをすすめている企業がありまして、夏休み・冬休みには住民や子どもたちに対して「お花の種を配ります。みなさん遊びに来て下さい」と、さも遺伝子組換えが安全であるかのような宣伝がされているので、とても危機感があります。

農薬についても私もまだ勉強不足なのでみなさんといっしょに今日は勉強させて頂きます。



「GM 食品と農薬」講演骨子 (順次、詳細報告を予定)

天笠啓祐さん 「遺伝子組み換え食品のいま」



酸化しない GM リンゴ



5 倍のスピードで成長する GM 鮭

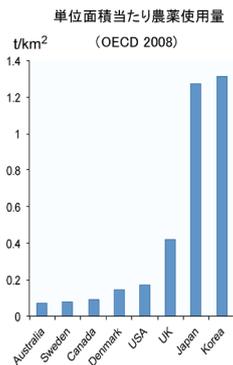
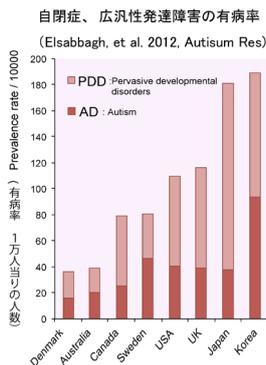
1. 遺伝子組み換え (GM) とは？
2. 世界的に栽培面積は増えてきたが、去年は減少
3. 今、何が起きているのか？
4. 主に 4 種類の作物、食品は食用油と油製品が中心
5. 性質は主に除草剤耐性と殺虫性
6. 増加する除草剤耐性作物に用いる農薬の種類
7. 日本人が世界で一番高い割合で食べている
8. 遺伝子組み換え食品表示 日本・台湾・中国・欧米
9. GM 作物は生物多様性を壊し、食の安全を脅かしている
10. 新たに登場した GM リンゴ
11. 世界で広がる反対運動
12. 遺伝子組み換え食品の避け方



クラゲの光る遺伝子を入れた猫

黒田洋一郎さん 「農薬が子どもの脳に及ぼす影響」

1. 危険な農薬の変遷
2. 農薬 (殺虫剤) は身近にある「毒」
3. 農薬の多くは遅発性
4. 食べ物の重要性 (水俣病の例)
5. 発達障害、「切れやすい」「引きこもり」の増加
6. 日本における発達障害児の増加
7. 発達障害の増加は遺伝でなく環境因子
8. 潜在を含めて発達障害児の割合は 10%に迫り増加中
9. 単位面積当たりの農薬使用量と発達障害の有病率
10. 脳神経系を標的としてきた農薬
11. 発達障害を起こす毒性としての「シグナル毒性」
12. ネオニコ農薬の危険性
13. 地域を無農薬化したらトキの繁殖能力回復



農薬単位面積当使用量と発達障害有病率は韓国・日本が世界で共にダントツトップ



家庭に忍び込むネオニコチノイド

魚住道郎さん 「次世代への責任。農薬をなくす運動は生産者と消費者の協同の実践にある」



1. 有機農業の実践現場から・・・多様な生き物がいる田畑～天敵の存在で農薬不要
2. 手作りアイデア農具で草取りラクラク
3. 子どもたちに安全な食は大人の責任
4. 無農薬化は生産者と消費者の協同の実践で
5. 有機の土壌と同じように、人間社会もバラバラに分断されるのではなく「団粒化」を

## 12/3 (土) じょうそう朝市開催報告



今回の朝市のテーマは「餅つき」!!  
子どもたちも「ぺったん、ぺったん」楽しいね~!(^o^)!

今回で4回目の開催となった「じょうそう朝市」。当日は晴天にも恵まれ、来場者の皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。メインイベントの餅つき大会ではお子さんはもちろん、一緒に来ていたお父さんが大活躍!まさに「昔とった杵柄」とばかりに張り切って心地よい音を響かせてくれました。

### ◆各フースの状況

#### 【イベント(餅つき大会:参加無料)】

- ・計3臼の餅つきを実施。子供に体験させたいとの理由での来場が多かった。搗き立てのお餅はやはり好評。
- ・隣のdocomoさんから餅つきの様子を見て流れてきた来場者もちらほら。
- ・もち米3升分(約4.5kg)を使用したけど、全てきれいになくなりました。

#### 【生協フース】

野菜と基礎調味料の販売。

#### 【組合員出店フース】

- ・浦谷さんの小物販売
- ・西澤さんのオーガニック紅茶(茶葉)の販売
- ・渡邊さんのカイロプラクティック

### 【年明け以降で出店希望(未確定)情報】

- ・ワークショップ リベルテ(守谷市けやき台)  
→障害福祉サービス事業所(就労以降支援)、作業所で制作した小物等の販売
- ・組合員さんによるイラスト似顔絵を描きブース出店。
- ・組合員さんによる→福祉用品(杖)の販売。出店希望はあるが、暖かくなってからとの話なので3月以降に検討。

### 子ども達も沢山楽しみました~)o^(



### ~次回の予定~

1月14日  
(土)

新年1回目の開催となる今回は「鏡開き」を行います。1年間の無病息災を願って、鏡開きしたお餅を美味しいぜんざいにします。お楽しみに♪



2月4日(土)

熱々の「おでん」で  
体の芯からぽっかぽ

まだまだ寒い日が続きますが、じょうそう朝市は2月も元気に開催します!  
無添加素材のおでんを食べてお腹も大満足!



出展者は随時募集しています!! 常総生協の本部を利用して、地域に根付いたコミュニティーの場と一緒に作っていきましょう~!!

## 12/4（日）供給職員による添加物学習会報告（千葉地区）



秋の役職員研修時に結成した添加物チーム。加工品で最も懸念されるのが添加物。2016年10月に開催した高橋徳治商店・高橋社長の食品添加物講習会を経て、「参加できなかった組合員さんへもっと広めていこう!!」と考え、添加物学習会を企画しました。テーマは、【見て体験して添加物の怖さを知る】。添加物の実験を実際行い、「添加物の効果を見て感じてもらい、購入するときの判断材料として学んでいただきたい」という主旨で開催しました。

### ～参加された組合員さんの感想から～

※紙面の都合上一部しか掲載できていません。ご了承ください。

#### ●本日の感想

添加物について、詳しい事を知らなかったので、すごく勉強になりました。研究なさってありがたいと思います。今後共、教えて戴きたく、よろしくお願ひ致します。

#### ●実験したなかで、どれが一番興味がありましたか？

乳化 消泡剤実験して頂いて、分かりやすく、納得いたしました。

#### ●次回やってみたい、添加物の実験はなんですか？

肉について、抗生部室物質の使用等

（我孫子市 田端さん）

#### ●本日の感想

気にはしていましたが、講習会に参加して、添加物はやはりダメ！だと思いました。スーパーで買物ができないですね。実験も目で見て納得できました。これからは常総の商品で、安心生活したいと思います。

#### ●実験したなかで、どれが一番興味がありましたか？

加工デンプンパッケージを見ると良く見かけるので、今回良くわかりました。

#### ●次回やってみたい、添加物の実験はなんですか？

着色料について

（柏市 牧野さん）

#### ●本日の感想

添加物は見た目を良くする、味を良くする、日持ちを伸ばすことは知っていたが、企業のコストダウン（増量、時間短縮）は今まで知らなかった。海外の方が信用できないと思っていたが、日本のほうが基準が甘いと聞き、益々不安になりました。もっと国で添加物について、厳しくしてほしい。消費者も、もっと知った方がよい。

#### ●実験したなかで、どれが一番興味がありましたか？

乳化 消泡剤添加物がどの工程で使われているのか、想像できた。

#### ●次回やってみたい、添加物の実験はなんですか？

着色料、酸化防止剤 PS

（我孫子市 柳瀬さん）

申し込み13名のところ、当日参加9名でした。添加物の勉強している方から、添加物の知識がない方まで、幅広く参加されていました。今回は、洗剤による乳化実験をしました。

お子さんが2名参加してくれていたため、乳化の実験のお手伝いをしてもらいました。「生協と市販品を並べての食べくらべはしたことが無いので良く分かった」と声がでていて良かったです。特に豆腐の美味しさ、違いの声が多かったです。

今後、少人数の添加物実験と食べ比べをキャラバンの流動的な講習会をやればと考えています。資料のご希望のある方は、実験の様子をまとめたのを追加して配布し致しますので、供給担当にお申し付け下さい。

（添加物チーム：萩原、宮部、岩野）